# 事前トレーニングキャンプ

#### 各国代表選手団が続々来県

オリンピック本番に向け、8カ国459人の選手団が県内9市町でコンディション調整のための事前トレーニングキャンプを行った。新型コロナウイルス感染症対策を徹底した結果、選手団及び受入市町職員から一人も感染者を出すことなく無事に終了。市民との直接のふれあいは叶わなかったが、創意工夫を凝らした交流で絆を深めた。

また、難民選手団陸上チームやROC(ロシアオリンピック委員会)アーティスティックスイミングチーム、サンマリノレスリングチームも県内で最終調整を行った。



▲空港で三郷市職員がギリシャ陸上チームを



▲入国直後のコロンビアBMXレーシング チーム

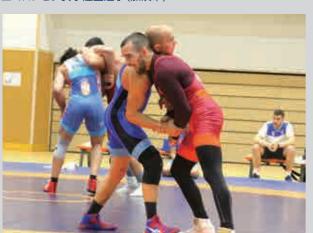


▲イタリアカラーに装飾された宿泊施設 (所沢市)

### 練習風景



▲コロンビア女子陸上選手(加須市)



▲セルビア男子レスリング選手(富士見市)



▲ブラジル女子陸上選手(新座市)

事前ト	<b>ノーニングキャンプの受入実績</b>	Ē

受入市町	相手国	競技	人数
秩 父 市	コロンビア	BMXレーシング	5人
所 沢 市	イタリア	陸上、水泳など6競技	233人
加須市	コロンビア	陸上、ウエイトリフティ ング、ボクシング	27人
深谷市	トルコ	女子バレーボール	25人
戸田市	オーストラリア	カヌー	23人
新座市	ブラジル	陸上	92人
富士見市	セルビア	レスリング	15人
三郷市	ギリシャ	陸上	34人
三芳町	オランダ	女子柔道	5人
9市町	8カ国		459人



▲コロンビア女子BMXレーシング選手(秩父市)



▲コロンビア男子ボクシング選手(加須市)



▲ブラジル男子陸上チーム(新座市)



▲コロンビア男子ウエイトリフティング選手(加須市)



▲練習後にマッサージを受けるセルビアレスリング選手 (富士見市)



▲オランダ女子柔道選手(三芳町)



▲氷水で体を冷やすギリシャ陸上選手(三郷市)

## 交流の様子



▲オンラインで交流するコロンビアウエイトリフティング選手(加須市) ▲選手村に出発するコロンビア陸上チ





▲ふっかちゃんと写真を撮るトルコ女子バレーボールチーム(深谷市)



▲和太鼓体験を行ったセルビア レスリングチーム(富士見市)



▲淑徳大学柔道部員と交流するオランダ チーム(三芳町)



▲子どもたちが書いたメッセージカードを プレゼント(三郷市)



▲開会式の衣装を身にまとったギリシャ陸上チーム(三郷市)



▲選手を歓迎する中学生に手を振って応えるギリシャ陸上チーム(三郷市)



▲バスで町内の小学校を訪問したオランダ女子柔道チームに手を振る児童(三芳町)

#### その他県内で最終調整を行ったチーム



▲必勝ダルマに目入れをするサンマリノ レスリング選手(富士見市)



▲練習を行う難民選手団陸上チーム(川口市)



▲川口市マスコットに興味を示すROCアーティスティック スイミングチーム

受入市町	相手国	競技
さいたま市	オランダ	空手
川越市	タイ	空手
本 庄 市	トルコ	5人制サッカー、パラテコンドー
東松山市	キューバ	レスリングなど複数競技
上尾市·伊奈町	オーストラリア	柔道
草加市	コロンビア	パラ水泳
越谷市	ポルトガル	卓球
戸田市	ルーマニア	ボート
北 本 市	アルジェリア	パラ柔道など4競技
鶴ヶ島市	ミャンマー	陸上など3競技
三 芳 町	マレーシア	パラ競技
寄 居 町	ブータン	陸上

事前トレーニングキャンプ実施を見送った自治体・相手国

# 都市装飾・スペクタキュラー

## 大会の統一デザインで街を装飾

競技会場や会場最寄り駅の周辺を大会統一デザインのバナーやラッピングシールなどで飾る都市装 飾を実施した。また、大会マスコット「ミライトワ」と「ソメイティ」のモニュメントである「スペクタキュ ラー」を設置し大会の祝祭感を高めた。

#### さいたまスーパーアリーナ・埼玉スタジアム2○○2(さいたま市内)



▲歩行者デッキ上のバナー装飾(北与野駅周辺)



▲ソニックシティの大型ビルラッピング(大宮駅西口)



▲競技会場前に設置したミライトワのスペクタキュラー (さいたまスーパーアリーナ)



▲歩行者専用道路の街路灯バナー(埼玉スタジアム2○○2)



▲バス乗り場のバナー装飾(浦和美園駅東口)





▲フォトスポットとしてにぎわったミライトワとソメイティのスペクタキュラー(朝霞駅南口) ▲駅前広場に下げたバナー(和光市駅南口)



▲柱巻きマグネットシートとラッピングシール(朝霞駅南口)



▲駐輪場入口ガラス面に施したラッピングシール(新座駅南口)

# 霞ヶ関カンツリー倶楽部(川越市・狭山市内)





▲狭山市市民交流センターのガラス面装飾(狭山市駅西口)



▲歩行者デッキを飾るラッピングシール(川越駅西口)



▲色鮮やかな街路灯バナー(本川越駅周辺)

## 花壇でおもてなし

#### 農業関係高校の生徒が制作

県立農業関係高校の生徒が制作した花壇を、オリンピック期間中は浦和駅、さいたま新都心駅、朝霞駅、霞ヶ関カンツリー倶楽部周辺及びウェスタ川越に、パラリンピック期間中は朝霞駅と和光市駅に設置。各校の個性溢れる色鮮やかな花壇が、大会に彩りを添えた。



▲設置作業風景



▲浦和駅に設置(杉戸農業高等学校)



120



▲さいたま新都心駅周辺に設置(いずみ高等学校)



▲可愛らしいマスコットが目を引く

朝霞駅(オリンピック期間)



▲設置作業周星



▲朝霞駅南口に設置(川越総合高等学校)

#### 霞ヶ関カンツリー倶楽部周辺





▲霞ヶ関カンツリー倶楽部周辺に設置(秩父農工科学高等学校

▲設置作業風景







▲ウェスタ川越に設置(川越総合高等学校)

▲設置作業風景







▲パラリンピック期間も設置(川越総合高等学校)

▲設置作業風景

和光市駅







▲花壇に設置されたコバトンも生徒の手作り

# 県内開催競技をモチーフにした作品で応援

## 美術・デザイン関係高校の生徒が制作

美術やデザインを学ぶ県立高校の生徒が「全力」をキーワードに、県内開催競技をモチーフにした作品を制作。作品は大型の看板にして大会期間中、JR大宮駅コンコースに展示した。多くの利用者が行き交う場所で、生徒達がのびやかに表現したそれぞれの「全力」は見る者を魅了した。





▲展示風景(JR大宮駅コンコース)

▲原画を制作する生徒たち(越生高等学校)

#### 県立美術・デザイン関係高校(4校)の生徒の作品



▲大宮光陵高等学校 美術科 2年有志9人 「つなぐ」



▲越生高等学校 美術科 「FULL POWER」



▲新座総合技術高等学校 デザイン科 「カップを目指して」



▲伊奈学園総合高等学校 芸術系 美術・工芸 美術部 「未来へ咲き誇れ – with hope in mind –」

## 子供たちの大会参画プロジェクト

#### 子供たちが思いを込めた作品で応援

子供たちが思いを込めて制作した作品が、大会期間中、競技会場や会場最寄り駅などに飾られ、大会に彩りを添えた。「声援の花束プロジェクト」は、子供たちが描いた花のイラストを集めて花束がモチーフのアート作品に、「和紙の大型折鶴制作プロジェクト」は大きな折鶴を制作して霞ヶ関カンツリー倶楽部のクラブハウスに展示した。「東京2020大会に向けて頑張る選手を応援しよう」をテーマに公募した絵画などの作品はポスターにして展示した。

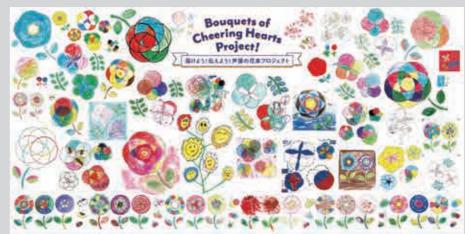




▲展示風景(JR大宮駅コンコース)



▲303作品が集まっ



▲子供たちのイラストを集めて花束がモチーフのアート作品に

▲声援の花束プロジェクトのワークショップ



▲選手を応援する作品の展示風景 (浦和美園駅)



▲選手を応援する作品の展示風景 (和光市駅)



▲和紙をみんなで折って巨大な鶴作りに挑戦



▲霞ヶ関カンツリー倶楽部のクラブハウス入口に展示し選手を迎えた

# 学校連携観戦プログラム

#### 大会の記憶を心に刻む児童

東京2020大会の観戦機会を児童・生徒に提供する「学校連携観戦プログラム」。県内では、会場となる陸上自衛隊朝霞訓練場に近接する新座市内の小学校1校がパラリンピックの射撃競技を観戦した。

県内で開催される唯一のパラリンピック競技を直に観戦した児童は「一生に一度のことなので、観戦できて良かった」と多くのことを感じた様子だった。



▲係員の説明を聞きながら、目の前で繰り広げられるハイレベルな戦いを真剣にみつめる児童



▲食い入るように競技をみつめる



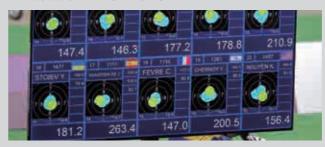
▲大型モニターに映し出され照れ笑い



▲場内の司会者が児童を歓迎。音楽のリズムに乗って場内を盛り上げた



▲入場後、観戦の注意事項を聞く児童





▲古但占に邸在



▲無観家開催の中 小学生の来場に係員も笑顔が絶えない



▲表彰式でメダリストに拍手を送る



▲パラリンピック射撃会場の様子



▲雨の中、係員が児童をサポート



▲「楽しみにしていたので観戦できてよかった」と笑顔でポーズ